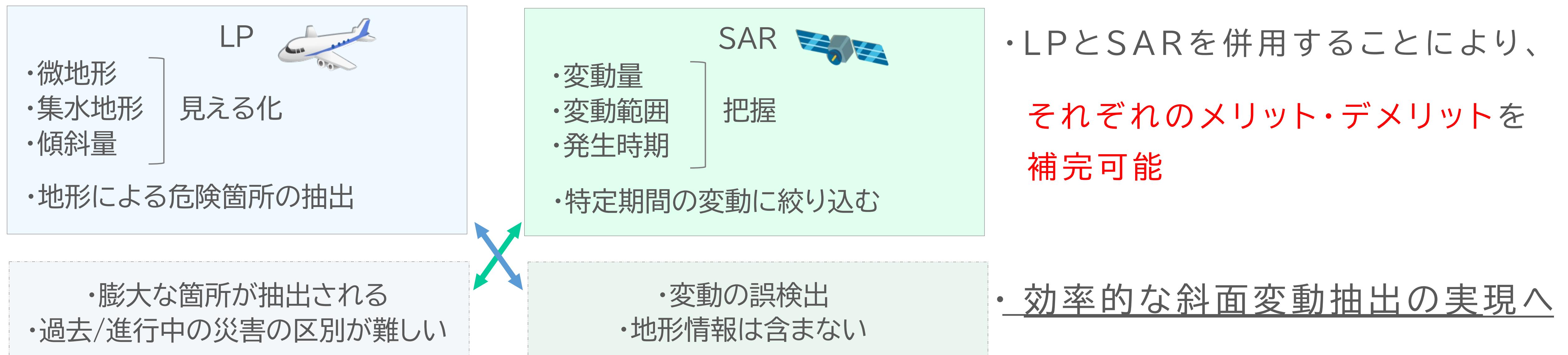


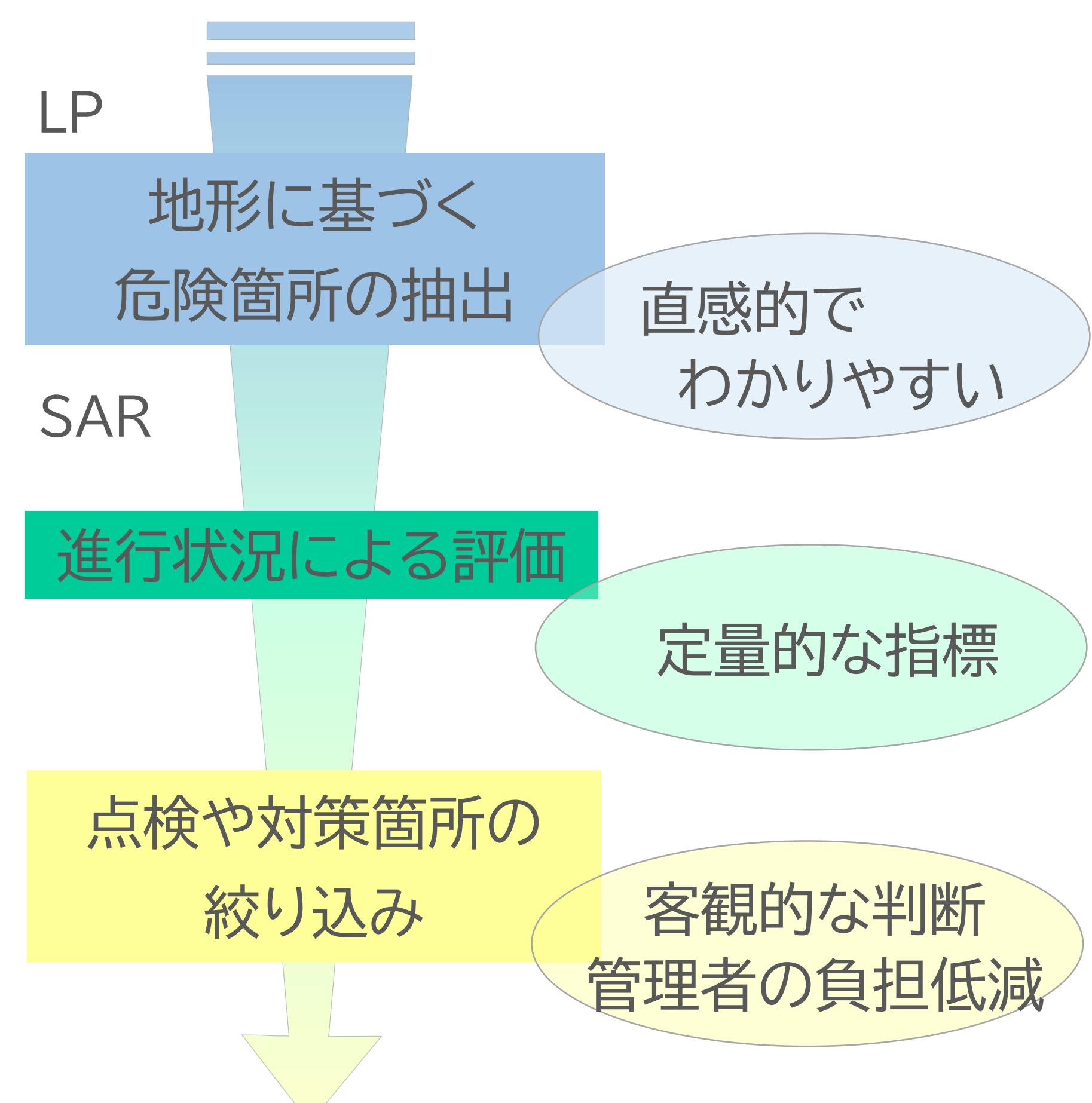
LP・SARを併用した斜面変動抽出

LP・SARそれぞれの特徴

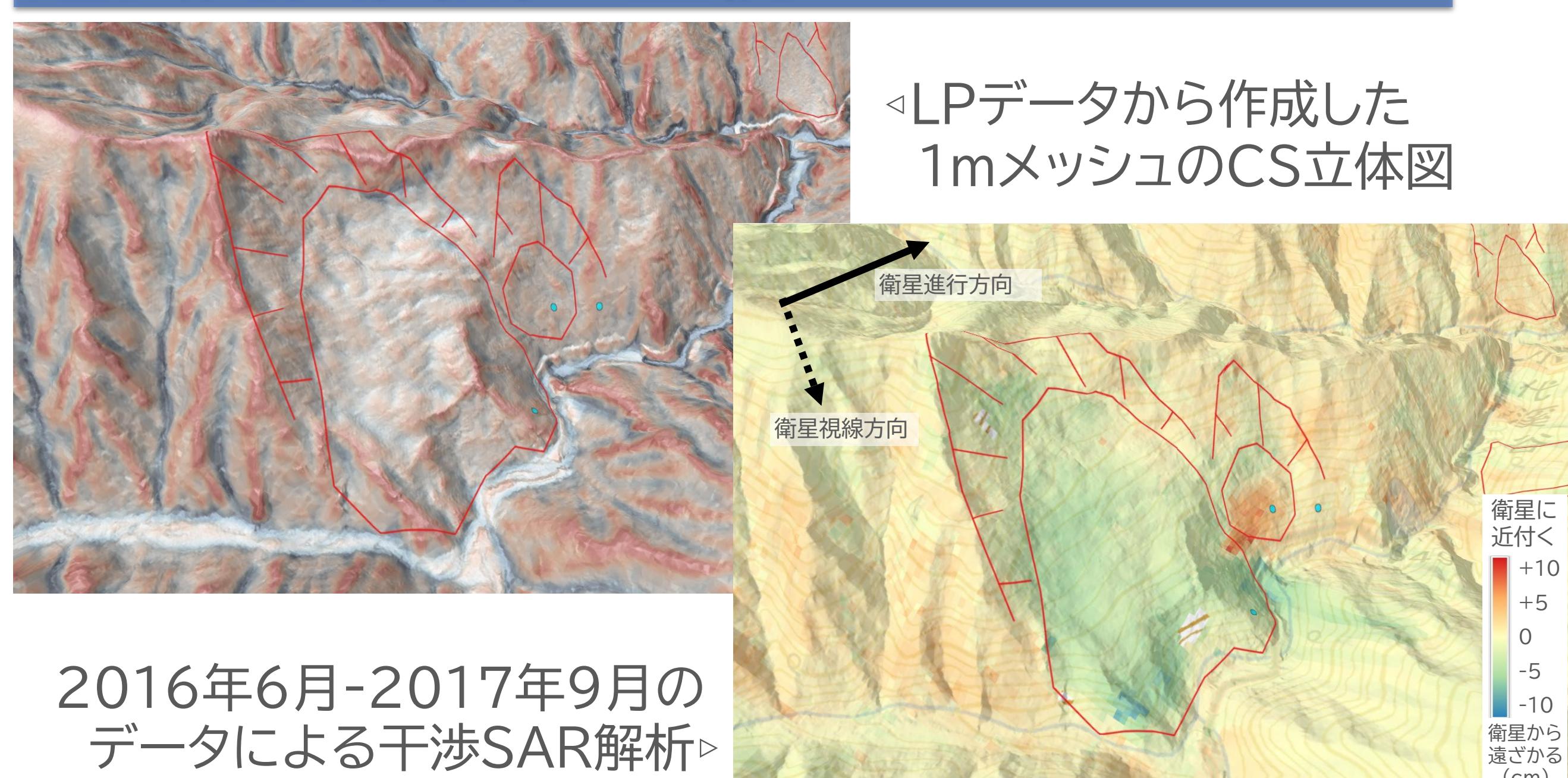


斜面変動抽出の流れ

1. LP(傾斜量図やCS立体図)を活用して
微地形の判読、危険箇所の抽出を行う
 2. SAR解析を用いて、
該当箇所の変動進行状況、変動量を確認する
 3. 危険箇所の中から対策優先度の高い箇所を選定
- ✓ 現地に赴く必要なし
✓ 客観的な判断が可能
✓ 1点ずつ現地確認を行うのに比べ、
大幅な時間・労力の短縮



過去発災箇所の監視



LP

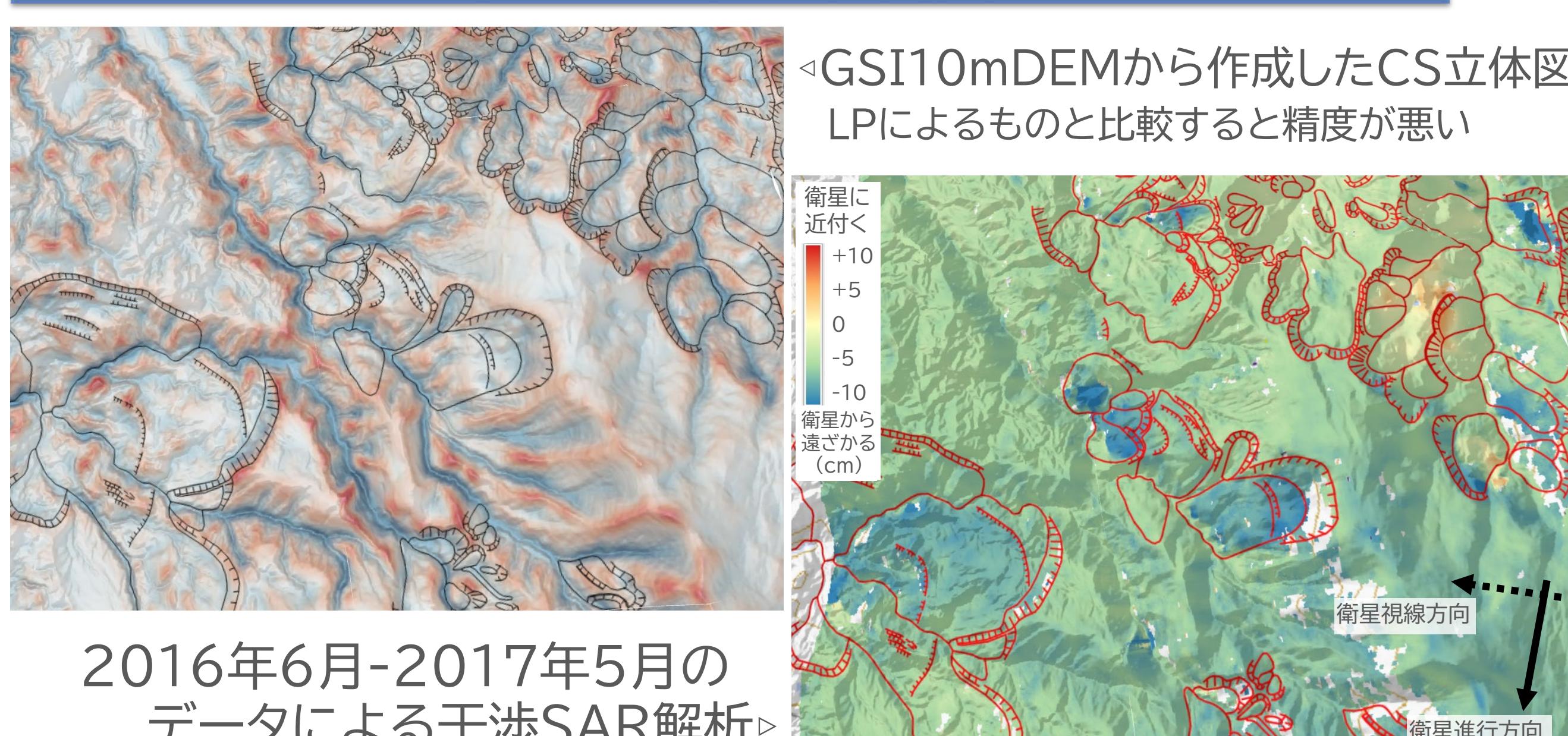
CS立体図での地すべりブロックの把握

SAR

2016年6月と2017年9月のデータで干渉処理

- ・CS立体図から読み取れる地すべりブロック(左)
で干渉SAR解析結果でも変動が確認される
→活動中の地すべりブロックと判断
→右のブロックでは別の動きを捉えた

地すべり地帯の監視・評価



LP

CS立体図での地すべりブロック分布状況の把握

SAR

2016年6月と2017年5月のデータで干渉処理

- ・活動中の地すべり/動いていない地すべりの判読
- ・変動量の把握

